

**第1回 福岡県地域エネルギー政策研究会
配付資料の訂正について (H25.3.1)**

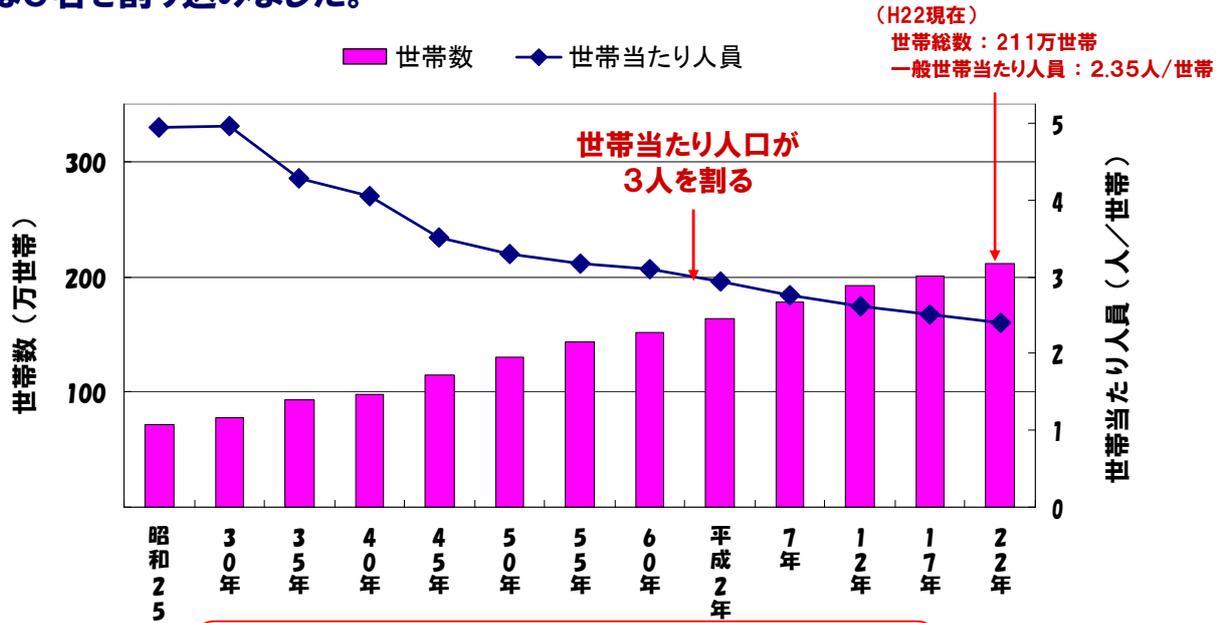
資料2.

**福岡県を取り巻く現状と
地域エネルギー政策研究会の役割
(P8, P24, P26, P32)**

2-③. 福岡県の世帯数の推移

訂正前

核家族化の進展により、本県の世帯当たり人員は徐々に低下しており、平成に入る頃には3名を割り込みました。



修正箇所

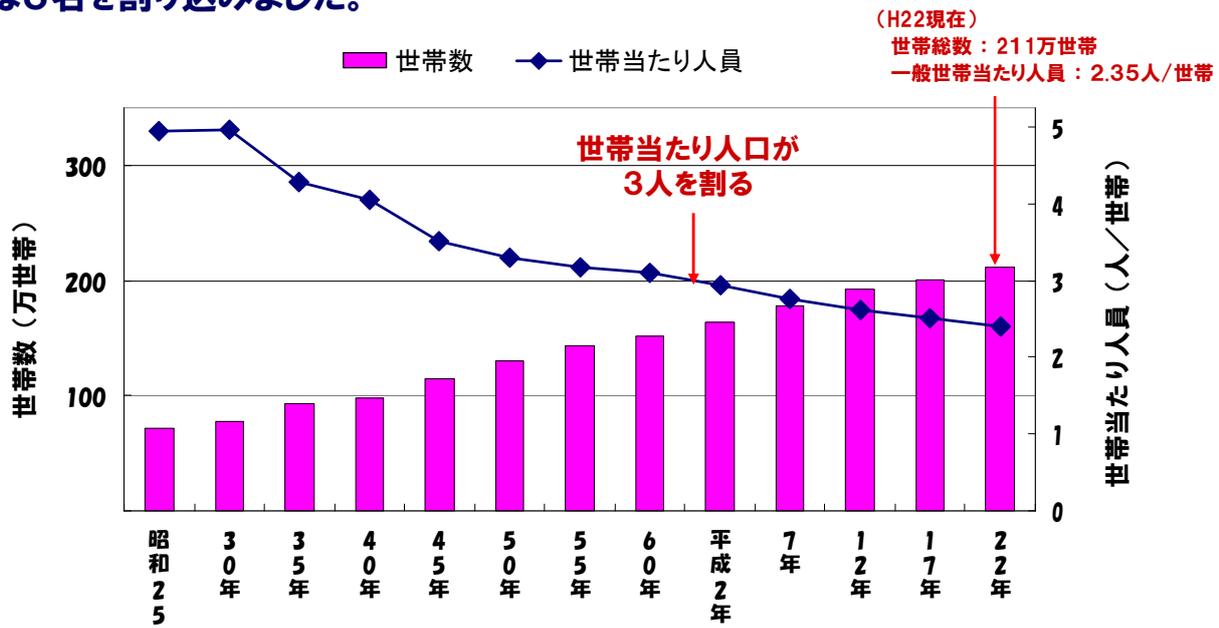
(参考) 平成22年全国データ	全国平均	(市部)	(郡部)
全国の一般世帯当たり人員(人/世帯)	2.46	2.44	2.78

資料) 総務省統計局「国勢調査」

2-③. 福岡県の世帯数の推移

訂正後

核家族化の進展により、本県の世帯当たり人員は徐々に低下しており、平成に入る頃には3名を割り込みました。



(参考) 平成22年全国データ	全国平均	(市部)	(郡部)
全国の一般世帯当たり人員(人/世帯)	2.42	2.39	2.72

資料) 総務省統計局「国勢調査」

4-③. 県内の最終エネルギー消費（平成22年度） 訂正前

本県の最終エネルギー消費は九州・沖縄の40%を占めますが、特に民生部門・運輸部門でその比率が高い傾向にあります。

修正箇所

最終エネルギー消費（電力・熱配分後）（平成22年度）

（単位：PJ）

		産業部門	民生部門	運輸部門 （乗用車）
福岡県	676	282	346	48
九州・沖縄	1,677	963	619	95
（福岡県の比率）	（40.3%）	（29.3%）	（55.9%）	（50.5%）
全国	15,746	8,934	6,089	723
（福岡県の比率）	（4.3%）	（3.2%）	（5.7%）	（6.6%）

修正箇所

資料）独立行政法人 経済産業研究所 研究員 戒能一成 「都道府県別エネルギー消費統計（平成24年10月改訂版）」
※PJ（ペタジュール）：千兆ジュール ※68PJが福岡ドーム1杯分の原油の熱量に相当

24

4-③. 県内の最終エネルギー消費（平成22年度） 訂正後

本県の最終エネルギー消費は九州・沖縄の35%を占めますが、特に民生部門・運輸部門でその比率が高い傾向にあります。

最終エネルギー消費（電力・熱配分後）（平成22年度）

（単位：PJ）

		産業部門	民生部門	運輸部門 （乗用車）
福岡県	676	282	346	48
九州・沖縄	1,929	895	897	137
（福岡県の比率）	（35.0%）	（31.5%）	（38.6%）	（35.0%）
全国	17,037	7,537	8,458	1,042
（福岡県の比率）	（4.0%）	（3.7%）	（4.1%）	（4.6%）

資料）独立行政法人 経済産業研究所 研究員 戒能一成 「都道府県別エネルギー消費統計（平成24年10月改訂版）」
※PJ（ペタジュール）：千兆ジュール ※68PJが福岡ドーム1杯分の原油の熱量に相当

24

4-⑤. 県内の産業部門におけるエネルギー消費（平成22年度）

訂正前

本県の産業部門における最終エネルギー消費は、94%以上が製造業由来であり、特に「鉄鋼・非鉄・窯業・土石」の比率が高くなっています。（産業部門全体の2/3）

(単位:PJ)	産業部門									
	非製造業	製造業								重複調整
		農林水産業	建設業 鉱業	化学 化繊 紙パ	鉄鋼 非鉄 窯業 土石	機械	他業種 中小製 造業			
福岡県	282	16	6	10	266	26	187	8	53	-8
九州・沖縄	963	127	80	47	837	163	495	33	175	-29
(福岡県の比率)	(29.3%)	(12.6%)	(7.5%)	(21.3%)	(31.8%)	(16.0%)	(37.8%)	(24.2%)	(30.3%)	
全国	8,934	808	338	469	8,126	1,864	3,424	559	2,860	-580
(福岡県の比率)	(3.2%)	(2.0%)	(1.8%)	(2.1%)	(3.3%)	(1.4%)	(5.5%)	(1.4%)	(1.9%)	

資料) 独立行政法人 経済産業研究所 研究員 戒能一成 「都道府県別エネルギー消費統計（平成24年10月改訂版）」
 ※P J（ペタジュール）：千兆ジュール ※68PJが福岡ドーム1杯分の原油の熱量に相当

修正箇所

26

4-⑤. 県内の産業部門におけるエネルギー消費（平成22年度）

訂正後

本県の産業部門における最終エネルギー消費は、94%以上が製造業由来であり、特に「鉄鋼・非鉄・窯業・土石」の比率が高くなっています。（産業部門全体の2/3）

(単位:PJ)	産業部門									
	非製造業	製造業								重複調整
		農林水産業	建設業 鉱業	化学 化繊 紙パ	鉄鋼 非鉄 窯業 土石	機械	他業種 中小製 造業			
福岡県	282	16	6	10	266	26	187	8	53	-8
九州・沖縄	895	105	74	30	791	124	396	37	261	-27
(福岡県の比率)	(31.5%)	(15.2%)	(8.1%)	(33.3%)	(33.6%)	(21.0%)	(47.2%)	(21.6%)	(20.3%)	
全国	7,537	586	296	290	6,951	1,607	2,656	329	2,666	-307
(福岡県の比率)	(3.7%)	(2.7%)	(2.0%)	(3.4%)	(3.8%)	(1.6%)	(7.0%)	(2.4%)	(2.0%)	

資料) 独立行政法人 経済産業研究所 研究員 戒能一成 「都道府県別エネルギー消費統計（平成24年10月改訂版）」
 ※P J（ペタジュール）：千兆ジュール ※68PJが福岡ドーム1杯分の原油の熱量に相当

26

4-9. 県内の民生部門におけるエネルギー消費（平成22年度）

訂正前

本県の民生部門における最終エネルギー消費は、九州・沖縄の50%以上と高い比率を占めています。

修正箇所

(単位:PJ)	民生部門								
	家庭	業務他							
		水道 廃棄物	商業 金融 不動産	公共 サービス	対事業所 サービス	対個人 サービス	他業務 誤差		
福岡県	346	150	196	22	66	40	11	40	17
九州・沖縄	619	291	328	29	81	92	28	73	25
(福岡県の比率)	(55.9%)	(51.5%)	(59.8%)	(75.9%)	(81.5%)	(43.5%)	(39.3%)	(54.8%)	(68.0%)
全国	6,089	2,857	3,232	273	833	949	263	683	231
(福岡県の比率)	(5.7%)	(5.3%)	(6.1%)	(8.1%)	(7.9%)	(4.2%)	(4.2%)	(5.9%)	(7.4%)

資料) 独立行政法人 経済産業研究所 研究員 戒能一成 「都道府県別エネルギー消費統計（平成24年10月改訂版）」
 ※PJ（ペタジュール）：千兆ジュール ※68PJが福岡ドーム1杯分の原油の熱量に相当

修正箇所

32

4-9. 県内の民生部門におけるエネルギー消費（平成22年度）

訂正後

本県の民生部門における最終エネルギー消費は、九州・沖縄の38%以上と高い比率を占めています。

(単位:PJ)	民生部門								
	家庭	業務他							
		水道 廃棄物	商業 金融 不動産	公共 サービス	対事業所 サービス	対個人 サービス	他業務 誤差		
福岡県	346	150	196	22	66	40	11	40	17
九州・沖縄	897	414	483	39	146	129	27	101	41
(福岡県の比率)	(38.6%)	(36.2%)	(40.6%)	(56.4%)	(45.2%)	(31.0%)	(40.7%)	(39.6%)	(41.5%)
全国	8,458	3,903	4,555	315	1,409	1,352	238	903	339
(福岡県の比率)	(4.1%)	(3.8%)	(4.3%)	(7.0%)	(4.7%)	(3.0%)	(4.6%)	(4.4%)	(5.0%)

資料) 独立行政法人 経済産業研究所 研究員 戒能一成 「都道府県別エネルギー消費統計（平成24年10月改訂版）」
 ※PJ（ペタジュール）：千兆ジュール ※68PJが福岡ドーム1杯分の原油の熱量に相当

32